



2022年5月31日

株式会社 阿波銀行

谷一商事有限会社の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまの SDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、谷一商事有限会社（代表取締役 谷崎 憲佑、本社：徳島県阿南市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	谷一商事有限会社
所在地	徳島県阿南市新野町馬場 10 番地 3
代表者	谷崎 憲佑
業種	石油類販売業
設立	1973 年 9 月 18 日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2022年5月31日



谷一商事有限会社 代表取締役 谷崎 憲佑

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール
環境・経済	省エネ・温室効果ガスの排出削減	CO2排出抑制のために、エネルギー使用量の把握に努め、さらなる省エネ・節電を推進します。	①LED化の推進	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 13 気候変動に具体的な対策を
			②2030年までに導入率100%	12 つくる責任 つかう責任
環境・経済	生物多様性への配慮	持続可能な社会の実現のため、自社の事業において生物多様性への配慮に努め、取組を推進します。	①再生可能エネルギーの導入・利用推進	8 働きがいも 経済成長も 14 海の豊かさを守ろう
			②2030年までに太陽光発電設備を導入	11 住み続けられるまちづくりを 15 陸の豊かさを守ろう
社会・経済	地域活性化・産業振興	持続可能な地域づくりのため、地域の社会的・経済的な活性化の取組みを行います。	①地域の特産品・自然等の特色を生かしたイベント企画	11 住み続けられるまちづくりを
			②年1回のイベント企画	17 パートナリシップで目標を達成しよう
環境・社会・経済	リスクマネジメントの実施	継続的な事業活動のために、自社の業務において発生しうるリスクを認識し、あらゆる対策に努めます。	①リスク管理の推進	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
			②住民拠点SSの実施（停電時給付可能）	16 平和と公正をすべての人に

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。